



事務局 〒060-0042

札幌大通公園ロータリークラブ
ライラック通信(2009/09/07)

札幌市中央区大通西 16 丁目 1
ライオンズM第3大通 801
札幌大通公園ロータリークラブ事務局
電話・FAX 011-301-2552

会長 高橋 宏 幹事 遠藤 雅文

第 355 回例会報告(2009/08/24)

・渡邊ガバナー公式訪問

滝川のロータリークラブは100名ほどの会員がいて50年の歴史があります。近郊にもいくつかロータリークラブがあり、そろそろガバナーが出て良いのではないかというお話しになりました。

私は毎日毎日断り続けてきたけれども、滝川クラブのメンバーやその他クラブの方たちが支えてくれるということでお引き受けし、今は大会に向けて一生懸命準備をしているところです。

そんな中、今日は、そらぷちキッズキャンプについて少しお話をしたいと思います。そらぷちキッズキャンプは心臓疾患などの難病や小児がんの子供達に子供らしい遊びを体験してもらうための場所です。

ある小児科のお医者さんが、アメリカにあるこのようなキャンプを見て、ぜひ日本にも作りたいと活動を始めたのがはじまりでした。

どこに作れば良いか、国の担当者などにも相談をして4つほどの候補地が上がったそうです。

そしてその方たちが滝川の候補地である丸加山にのぼってみると、そこには一面の菜の花畑が広がる素晴らしい景色がありました。そこで、ここにキャンプを作ろうと決まったということです。

ただ、開設には5億、維持費も年間1億円がかかるとのことでした。

当初話しを聞いたときは立消えになるのではないかと感じていましたが、たくさんの寄付が集まり開設に至りました。子供達がキャンプに参加するのを見てみると、本当に嬉しそうにしています。

ある子供は、外に出て遊んだことの無いような子だったのですが、すぐに周りの人たちのことを覚えてしまうほどそれは生き生きと生きている姿をみて涙がでました。

私としましては、このそらぷちキッズキャンプをしっかりと支援していきたいと感じていますし、みなさんにもぜひ知っていただきたいと思っています。

橋口 とも子 会員

そらぷちキッズキャンプ <http://www.solaputi.jp/>



第 356 回例会報告 (2009 / 08 / 30) ポリオ街頭募金

8 月 30 日 日曜日の午後 2 時よりクラブ会員全員で大通り公園 4 丁目の街頭に立ち、募金活動を致しました。ポリオの理解を求め会員が道行く市民に声を掛け、協力を戴きました。



次回例会の予定

- 357 回 7 日 (月) クラブフォーラム・CLP について討議 (幹事担当)
358 回 14 日 (月) 17 日の献血活動のため休会 (受付あり)

行事のお知らせ

- ・ 9 月 17 日 (木) 献血活動

週例ロータリー財団考 第 7 回

7) 今週のロータリー財団考は、年次プログラム基金についてです。

年次プログラム基金は、すべてのロータリー財団のプログラムに、用途を指定せずに援助を提供する重要な資金源です。この基金は 7 大陸にある 160 以上の国で行われているプログラムに資金を提供します。アフリカの農村に井戸を掘ることから、ラテンアメリカの子供たちに読み書きを教えることまで、平均すると、一日何千人というロータリアンが、自らの時間と専門知識を捧げて懸命にボランティア活動にあたっています。このようなロータリアンのおかげで、年次プログラム基金に寄せられた寄付が、無駄なく質の高いロータリー・プロジェクトに費やされることが可能になるのです。すべてのロータリアンが、「毎年あなたも 100 ドルを」を通じて年次プログラム基金を支援することによってのみ、私たちは今後もロータリー財団の素晴らしい活動を継続していくことができるのです。